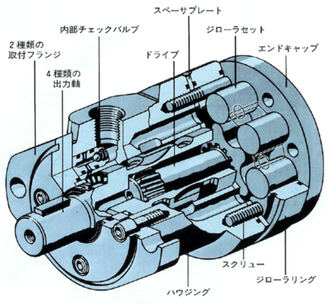
新型Sシリーズ内部構造



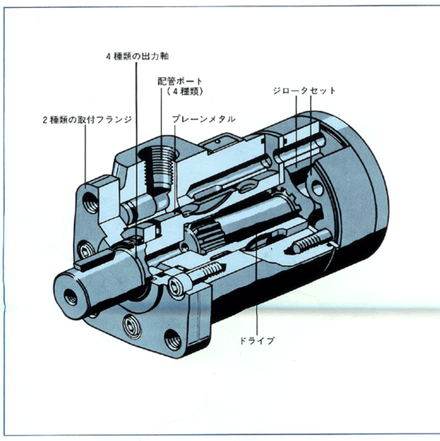
S型オービットモータはH型の強力重荷重用として開発されたモータで、ジロータセットのかわりに、ジローラセットを組み込み摩擦、摩耗を減らし性能を向上させております。吐出量によりジローラの幅を変えた7機種があります。

新型Sシリーズの特徴

新型モータは次のように設計変更されました。

- 内部チェックバルブを追加――チェックバルブの効果により正逆頻度の多い用途に対してもケーシング内部の圧力を常に低圧に保ち、オイルシールの寿命を向上させます。
- 重荷重ハウジングの採用――エンドキャップ、ジローラ、スペーサプレートが直接ハウジングにボルトとめされ、従来スペーサプレート用にのみ使用されていたボルトが廃止されております。

Hシリーズ内部構造

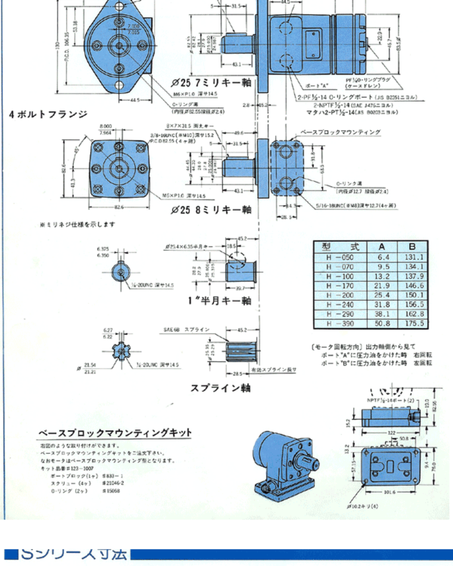


低速高トルクのオービットモータは、逆星運動機構を取り入れた間期的な油圧モータです。このジロータセットの合成回転運動は、モータの吐出量を6倍にする効果を有し6対1の減速機構と同じ効果をあげることができます。オービットモータは構造簡潔であり、モータはシャフトアウトプット(ロータリーバルブ機能を有する)、ジロータセット、ドライブのわずか3個の回転部品からなり耐久性にすぐれています。又作動油の流れ方向を変えるだけで効率を下げることなくただちに逆回転ができます。

オービットモータは、同トルクの他の油圧モータや電動機と比し、非常に小形軽量です。

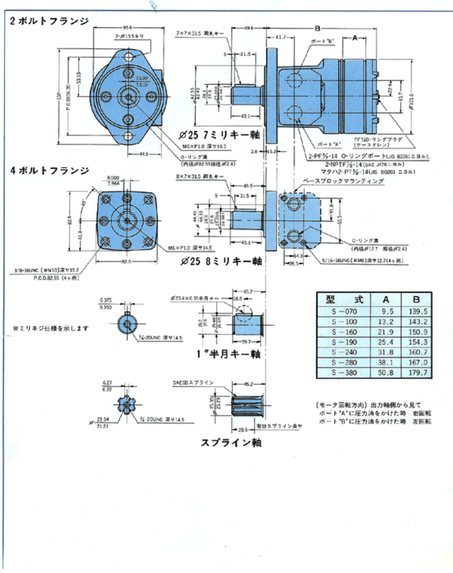
吐出量によりジロータの幅をかえた8機種を用意しております。

Hシリーズ寸法



型　式	A	B
H −050	6.4	131.1
H −070	9.5	134.1
H −100	13.2	137.9
H −170	21.9	146.6
H −200	25.4	150.1
H −240	31.8	156.5
H −290	38.1	162.8
H −380	50.8	175.5

Sシリーズ寸法



型　式	A	B
S −070	9.5	139.5
S −100	13.2	143.2
S −160	21.9	150.9
S −190	25.4	154.3
S −240	31.8	160.7
S −280	38.1	167.0
S −380	50.8	179.7